事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（都道府県：愛媛県）

市町村名	事業実施主体名	メニュー①（対象作物・畜種等名）①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー②（対象作物・畜種等名）②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	特別枠加算の取組の具体的な実績	事業内容（工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費（円）	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時（平成18～20年平均）	１年後（平成22年）	２年後（平成23年）	３年後（平成24年）	目標値（平成24年）	達成率				計画時（平成20年）	１年後（平成22年）	２年後（平成23年）	３年後（平成24年）	目標値（平成24年）	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他				
四国中央市	うま農業協同組合	野菜（里芋）	▼【野菜】▼（ブランド品割合増加）▼全出荷量に占めるブランド産品の出荷割合の増加	ブランド品の割合 47.7%	87.5%	92.0%	99.0%	75.6%	183.8%	ブランド産品の出荷割合が計画時より51.3ポイント増加	野菜（里芋）	▼【野菜】▼（生産コストの縮減）▼単位出荷量あたりの生産コスト縮減	8,482円/100kg	8,481円/100kg	7,681円/100kg	6,626円/100kg	6,679円/100kg	102.9%	単位出荷量あたりの生産コストが計画時から1,856円/100kg縮減		集出荷貯蔵施設（里芋選別ライン一式）処理能力1,600t/年	8,400,000	4,000,000			4,400,000	H23.2.25	機械化植付体系の拡大による生産コストの低減や、ブランド産品（伊予美人）への転換が進んだこと、里芋選別後の小玉の規格を細分化することで、消費地のニーズに合わせた商品規格に対応することが可能となり多様な有利販売が行えた事から、農業所得の向上が図られた。	「伊予美人」への品種転換が予定より早く完了した。また、機械化体系の確立など生産性の向上により、生産コストの低減が図られた他、選別機による出荷から、単価アップとともに、農家所得の向上となった。	